

事業番号2023 - 文科 - 22 - 0463

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	独立行政法人国立科学博物館施設整備に必要な経費			担当部局庁	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条			関係する 計画、通知等	第3期 教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 第6期 科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 第1期 文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	科学技術振興費		
施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人国立科学博物館の設置する博物館施設の整備充実を図るため、独立行政法人国立科学博物館が行う博物館施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって自然科学及び社会教育の振興を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	施設・設備の更新・改修について、施設整備補助金を用いて優先順位をつけて整備を行っている。課題としては、多くの来館者の安全のため、またナショナルコレクションの構築とそれらに基づく研究活動の継続的実施のため、施設の確実な整備・管理が必要であるが、更新・改修が十分になされておらず、機能低下や事故発生の危険性がある施設がある。						
事業概要 (5行程度以内)	施設・設備の整備に当たっては、ナショナルコレクションを人類共通の財産として将来にわたって確実に継承することや、新たな研究成果やニーズ等を展示内容等に適切に反映すること。さらには「新しい生活様式」を踏まえ安全で快適な観覧環境を提供するとともに、防災等の視点を入れて、計画的に進めること。ついては、来館者等の安心安全にかかわる施設等の整備について、改修・修繕を行うものである。(定額補助)						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/1399877.htm						
実施方法	補助						
補助率等	100%						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	133	-	-	-	779
		補正予算(B)	1,366	976	238	829	
		令和5年度第1次補正予算				829	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	50	1,500	2,037	1,214	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 1,500	▲ 2,037	▲ 1,214	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	49	439	1,061	2,043	779	
	執行額(G)		45	438	1,023		
	執行率(%) =(G)/(F)		92%	100%	96%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		3%	45%	430%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	独立行政法人国立科学博物館施設整備に必要な経費			※収蔵庫新営(収蔵棚等)の要求による経費の増のため。 ※うち要望額(重要政策推進枠)779百万円。		
	(目)	独立行政法人国立科学博物館施設整備費補助		779			
	計(A)		-	779			

活動内容① (アクティビティ)		独立行政法人国立科学博物館の施設の老朽化等への対応のために必要な施設整備を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		独立行政法人国立科学博物館の施設・設備の老朽化への対応、利用者の安全確保及び利便性の向上等を目的とした施設整備を適切に行う。	年度計画に基づく施設整備の件数	活動実績	式	1	0	2	－	－	
				当初見込み	式	2	2	3	2	0	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	独立行政法人国立文化財機構が達成すべき業務運営に関する目標(中期目標)を定め、独立行政法人通則法に基づき主務大臣が業務実績評価を行っている。施設・設備に関するものについてもこの目標に定めており、年度終了時、中期目標期間終了時に評価されるものであることから、毎年度、一定以上の評価を受けることは短期的に正しい成果が得られていると判断することができると考えられるため。□									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	100	100	－	－		
				目標値	%	100	100	100	100		
				達成度	%	100	100	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人国立科学博物館の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについて、中期目標期間実績評価における評価実績をもとに判断する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、施設・設備に関するものについて、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人国立科学博物館の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

文化庁
1,023百万円

独立行政法人国立科学博物館の設置する博物館施設の整備充実を図るため、独立行政法人国立科学博物館が行う博物館施設の整備に要する経費に対して補助を行う。

【補助】

(A)国立科学博物館
1,023百万円

【一般競争入札
(総合評価)等】

(B)施設の整備

民間企業等
(6社)
1,023百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかに
ついて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者
について記載する。費目
と使途の双方で実情が
分かるように記載)

A.

費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	国立科学博物館の施設整備	1,023
計		1,023

B.

費目	使途	金額 (百万円)
建物	国立科学博物館(筑波)第2収蔵庫新営工事	344
計		344

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

